

特別講座 カバラ生命の木を学ぶ

依存症とそれからの回復 ～12ステップと十戒～

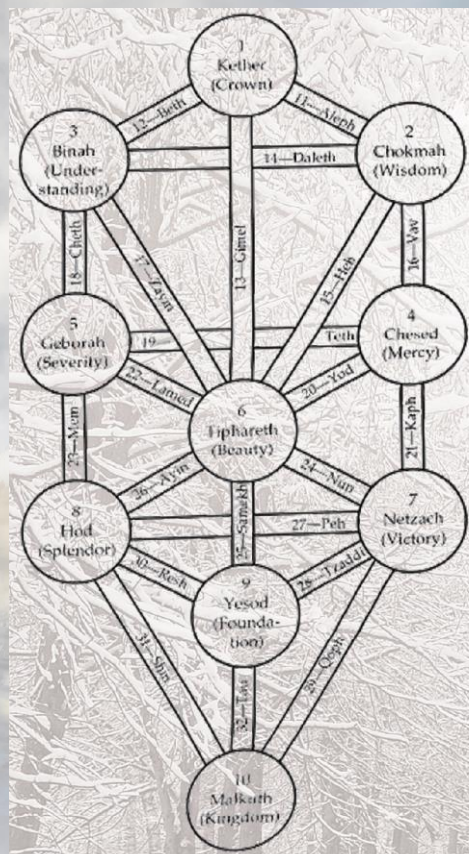
誰もが陥ってしまうかもしれない、依存症…

依存症とは、ある物事に依存し、それがないと身体的・精神的な平常を保てなくなる状態です。アルコール依存症のような物質に対するものと、インターネット依存症のように行為に対するもの、共依存のように人間関係に対するものがあり、誰もが何らかの依存症に陥る可能性があると言えるでしょう。

依存症から回復。その真理を知る。

「12ステッププログラム」と「生命の木」と、「ヤコブの梯子を上昇する（生命の木を登る）道筋」を統合することで、依存症を理解するために必要な枠組みが見えてきます。今回のこのワークショップでは、依存症を理解するための枠組みを知り、依存症からの回復を通して問題行動から脱して人生再構築に向けて回復途上にある人が、内的に成長する人として、前進するプロセスを理解できます。

さらに、この枠組みを深く理解すれば、真剣に自らの霊的成長のために取り組みを続ければ、霊的体験、ミスティックや奥義との出遭い、霊的イニシエーション（奥義の伝授）、さらに深いレベルでの回復や自己変容に向けて、霊的成長していくことも可能になるでしょう。



●「生命の木」は、神の意思顕現としての全レベルの存在界の原型で、それにより森羅万象の説明ができます。故に神の意思顕現のプロセスも示し、その神なる源から出てきた地上の人間の神への回帰法も示します。従って、あの十戒（デカローグ、十の言葉）も、「生命の木」を構成する十要素、即ち十のセフィロトに対応するのです。

●「12ステッププログラム」とは、依存症からの回復のための霊的なプログラムです。二人のアルコールিক、ビル・Wとドクター・ボブによってアルコールিক・アノニマス（AA）が1935年に作られ、AAの回復プログラムとして使われています。

日時：11月16日17日 10:00～16:30 昼休憩有

受講費：20,000円+税

早期割引 18,000円+税(9月末まで)

(フィリング会員 2,000円引き)

会場：トリン 06-6575-7977

大阪府中央区南船場 3-10-26 吉川ビル 902

申込み：trine.lps@gmail.com まで (担当:吉田)

講師 ジェラルド・ギレスピー氏

カンサス・ウエスレヤン大学の心理学部の名誉教授で依存症(アディクション)カウンセリング学科の責任者として27年間指揮をとり、二年前に引退した。数々の著作に取り組み、雑誌や本として出版されている。各著作のトピックは「カバラ」「依存症」の他、霊的・心理的分野、さらには社会問題にまで渡っている。

通訳 ギレスピー・新村峰子氏

徳島県生まれ。アメリカ、カンサス州在住。

訳書に『メッセンジャー「永久の炎」』(マルキデス著、太陽出版)、『カバラの宇宙』と『図説カバラ世界入門』(ハレヴィ著、出帆新社)、『神道の神秘』(山蔭基央著)を英訳し、The Essence of SHIMTOの原本となる。



←トリンへのアクセス